NIE実践報告

1．タイトル：**よりよく生きる**

2．学校名

見附市立見附中学校

3．実践者名（代表者名）

牛腸康志

4．学年

第２学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　32名

6．単元（本時の学習課題）名

よりよく生きる。

7．目標(狙い)

生活していく上で何事も、誇りをもって、自ら考え、判断、実行し、自分の行為の結果に責任をもてるようにさせたい。自分の弱さと向き合い、それを克服して、よりよく生きていくことの大切さを自覚させる。

8．評価の視点

・自分たちが教育を保障された中で生活していることを実感できたか。
・教育を保障された環境に甘えず、向上心をもって学校生活を大事に送ろうとする心情が深まったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

項目3-（3）２年生「よりよく生きる」新聞記事を使った授業　１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・導入でテストや勉強がないことについてどう思うかなど学習の意義を考える。
（＊4コマ漫画を使い、共感できる工夫をする。）
・展開前半は、アフガニスタンで靴磨きをして毎日100円～300円を稼ぎ、生計を立てている少年の新聞記事を使い、100円の使い道を考えることで、少年の生活ぶりを連想する。
・展開後半は自分たちは教育を受けることが保障された恵まれた状況であることを知り、学ぶことが夢への道であることに気付かせる。
（普段の生活ぶりの反省と東日本大震災後にがんばっている被災地の子どもたちの様子を知らせ、心情を深める。）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞に載ったリアルタイムの記事であること、記事の内容が、外国の同年代の子どもの生活についてであることが生徒の興味を引いた。自分たちと全く違った生活環境でがんばる姿が、生徒が自分自身を振り返るよいきっかけとなった。

12．成果と課題

新聞を活用した授業での成果は、副読本ではない、日頃から目にする新聞を利用することで、生徒の興味を深めることができたという点である。今後の課題は、情報量が多い新聞を授業の題材として活用するために、どのように記事の抽出をしていくかということと、記事の内容を生徒が多面的にとらえられるようにするためにどのように指導していくかということが挙げられる。